

# 超高齢社会での マンション内交流 どうしてますか？

日時:令和 7 年 10 月 29 日(水)  
(2025 年)

場所:千里市民センター大ホール

## 第 1 部 基調講演

講演(大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 石川久仁子氏)

住み慣れたマンションで暮らし続けるには ~集合住宅における互助について考える~

## 第 2 部:取組報告

①ルミエール千里山田「互近助会」 ②吹田コープ自治会

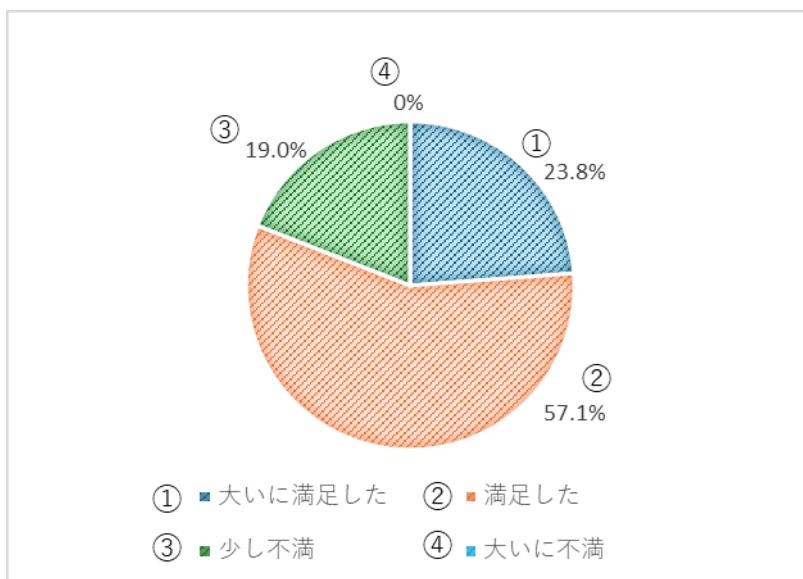
## 第 3 部:参加者同士の意見交流

・どのような課題を感じているか。どのような取り組み(イメージ)をしているか。

参加者数:71 人(参加者:39 人、講師、地域包括支援センター、社協 CSW など:32 人)

アンケート回答者数:21 人

今回のマンション交流会 2025 はいかがでしたか。



## 1. 第1部: 基調講演で印象に残ったポイント・キーワードがあれば記入ください。

- 1-1 地域福祉と居住福祉、居住福祉資源、居住支援協議会
- 1-2 集合住宅での助け合いの大切さ。
- 1-3 多少興味があったので大まかなことが分かったので良かったと思う
- 1-4 最後に紹介された2グループも含めて、活動が事業グループを前提としており、ハードルが高いと考えます。民生・児童委員は、個人を対象とした活動ですので、委員が主となって活動をひっぱることは、望ましくないと役所の見解を受けています。
- 1-5 楽しいから続く
- 1-6 居住福祉資源
- 1-7 居住福祉
- 1-8 気づきの大切さを感じた
- 1-9 1つの形を見せていただいたと思いますし、講演としても成り立っていてさすがだなと思いました。大学の先生なのにとっつきにくい講演ではなく間口が広くて聞きやすかったと思います。
- 1-10 居住福祉という考えは知らなかった
- 1-11 小さな助け合いが大きな助け合いに進化していく。というのはそのとおりだと思った。
- 1-12 「居住福祉」という言葉を初めて知りました。地域包括ケアシステムでも「住まい」がシステムの要素になっている点に通じると思いました。
- 1-13 居住福祉という言葉を初めて聞きました。今後の活動を切り開く鍵になればと思い勉強したいと思いました
- 1-14 いろいろ
- 1-15 誰が助け合いをコーディネートするのか？
- 1-16 マンションといつてもいろんなところ、戸数が違うので参考になったところはたくさんありました。

## 2. 第2部: 取組報告で印象に残ったポイント・キーワードがあれば記入ください。

- 2-1 福祉委員会、互近助会、キチキチしなくて良い。出来ることのみする。住民同士の繋がり、地域包括との共催
- 2-2 同じマンション内のコミュニケーションの作り方。
- 2-3 自分のマンションでは若い方が多く高齢者は人数的にそれほど多くないのかなと思っていた。これから先のことが気になって興味を持っていたが全世代で交わることが大切なことがわかった。
- 2-4 事業グループの成立には、組織規定の作成や、活動資金の調達、管理が必要と思われますが、そこら辺の説明が無いため、どのようにグループを形成していったのかが分かりにくかった。
- 2-5 年輪ネットで企画・運営いいですね！住民さんと一緒に考える場大切だと思いました。
- 2-6 吹田コーポの活動
- 2-7 自治会活動が楽しい
- 2-8 やりたい事を手分けして
- 2-9 2 マンションの取り組みすごいなと思いました。1 マンションで立ち上げる取り組みとしては最高な取り組みだと思います。自治会同士の横のつながりができればもっと良いと思いました。もっとこの2 マンションはたくさん良い取り組みができそうでうらやましいです。
- 2-10 ルミエール千里山田の取り組みは素晴らしいです

2-11 吹田コープがマンションで介護フェアを開催し、地域の事業者が取組に協力している点は、生活支援サービスを提供している事業者が地域での新たなつながりづくりで協力できる事例のように感じました。自治会の組織率(会員数)がその地域でのマンションの在り方に左右されるものだと思いました。吹田コープの自治会加入率が90%というのと役員が1年交代で維持できているのが築数十年経つマンションでできているのでもう少し聞きたかった。

2-12 いろいろ

2-13 全世代が楽しめるイベント

2-14 質疑応答をしてほしかった

### 3. 第3部:参加者同士の意見交流で印象に残ったポイント・キーワードがあれば記入下さい。

3-1 福祉関係のスタッフを巻き込んでいく。相談する。管理組合台帳をプライバシーを守りながら、活用する。

3-2 専門員はスカウトで選び、継続して行ってもらう。

3-3 いろいろなマンションがありいろいろな問題があると、あらためて思いました。

3-4 いろんな話が聞けてとてもよかったです。

3-5 やはり、個人の努力に頼りきった活動のようで、一部やりすぎと思われるものもあった。

3-6 世代間の交流

3-7 公民館の講座などを活用して人材を繋げる

3-8 皆さんの中のマンションそれぞれの事情があるんだなと思いました。隣の芝生は青く見えますが、住んでみたいとわからないことがたくさんあるんだなと思いました。民生委員さん興味を持ちました。

3-9 YouTubeの活用

3-10 地域の担い手づくりにあたって、核(ホスト)となる人が少なくとも2人は必要だと思いました。

3-11 包括支援センターの普段の活動を知る必要を感じました

3-12 いろいろ

3-13 せっかく頑張ってイベントしたのに、不平不満でなくなってしまった

### 4. マンション等の共同住宅での孤立防止、つながりづくり等で必要なことを記入ください。

4-1 まずは挨拶から、コミュニケーションをコツコツ取る。幅広く世代間なく参加できるイベントを行う。

4-2 常日頃からコミュニケーションをとる心構えが必要と思いました。

4-3 ほとんど顔と名前を知らないので、まずそこからと思いました。

4-4 地道に。例えば、すぐに対処が必要な認知症、焦ることはないが、知りたい認知症の症状等の情報提供等をこまめに提供していくことから始める必要があると思います。

4-5 顔の見える関係づくり

4-6 挨拶、居場所づくり

4-7 まずは挨拶から。お互いの顔見知りの認識でセキュリティ効果を生み出すと思います。

4-8 隣や同じ階にだれが住んでいるのかわからないのでは話にならないと思いました。全世代での交流が難しければ各世代間の交流から始めればよいと思いました。

4-9 マンションや同じ地域で暮らしている方に共通する課題、防災などをテーマに取り組み継続することが大切だと思います。ニーズがなければ参加にならないと思います。

4-10・日頃のあいさつ、まず自分が近所の方のことを知ろうとすること、ちょっとの立ち話を大切にする

4-11 イベントの企画という短期の付き合い(イベントが共通話題になる)、その短期の付き合いを繰り返す

## 5. 今後、マンション交流会を開催する際に取り上げてほしいテーマがあれば記入ください。

5-1 戸建て住宅と分譲マンションとは環境が違う。考え方も違う。同じ共同住宅でも、分譲と賃貸とはまた異なる。まず賃貸は入れ替りが多い。関わらない気楽さが良い人もいる。しかし、超高齢化で家族関係も薄い高齢者が増えている。近隣について関心が無いと、ますます孤独死が増す。賃貸は福祉関係スタッフの介入も他よりも必要では?賃貸住宅の団地内交流の成功事例を学びたい。介護サービスをほぼ平日利用されていても、土日中に孤独死された方が団地内に最近二人おられた。団塊の世代が介護難民となると、ピークとなると、あちこちで孤独死も増える。どうすべきか?

5-2 快適なマンション生活をおくる為の成功例。

5-3 個人を対象とする民生・児童委員は、このような事業活動に協力することは、やぶさかではないですが、この事業活動とは別に個人訪問の他にできる活動にどのようなものがあるのか紹介願いたい。

5-4 地域コミュニティアプリの活用

5-5 隣や同一階の人とつながりを持つ方法が知りたいと思います。働く世代を誘い出せたらいいと思います。

5-6 石川先生が最後のまとめでふれられた「マンションを宝物」(資源)とした取り組みは何ができるのか?

5-7 石川先生の看取りまでマンションで過ごすという考え、今まで考えてもいませんでした

5-8 具体的にイベントなどをどう始めるか?人集め、自治会での承認方法など、立ち上げの詳細。

## 6. その他、お気づきの点がありましたら記入ください。

6-1 どうも有難うございました。

6-2 初めての参加でしたが、大変参考になりました。ありがとうございました!!

6-3 他の参加者とも話をしたのですが、各々の立場で頑張っておられるのが感じられて心強く思う反面、なんの支援もなく孤独に活動しているようにも見受けられ、なんとかならないものかと思った次第です。

6-4 第2部について「言うは易し行うは難し」と言う通り、「夏祭りをしました」と結果だけ言われても、実際のところはその過程が難しいはずです。どうやって人を集めたか。どうして人が集まつたのか。企画する上で課題になったこと。祭りはどのような屋台がどの年代にウケたのか。知らない者同士が集まると気まずさも想定されるが、どうやって気まずさを解消したか。お茶会だけなら、余計共通話題には気を使うはず。そういうことを聞きたかったです。今回の話はあまり参考になりませんでした。自慢話を聞かされただけ?例えば互近助会の場合、お2人が部活動の会長をされているから人を集められたのはわかります。

6-5 グループワークの充実

6-6 もう少し細かいテーマでもよいのかもしれません。

6-7 ルミエールマンション自治会、吹田コーポ自治会の事例発表よく理解できました。ありがとうございました。

6-8 グループ交流が声の大きさもあり聞き取りにくい参加者がいる為、A4の紙を4つに折って名前や感想を記入の上、報告・交流するなどの工夫があればと思います。

6-9 参加できてよかったです。ありがとうございました。